

学 校 評 価

地域・保護者の皆様へ自己評価結果の報告

はじめに

12 月に実施した「よりよい学校教育のためのアンケート」に多数のご回答をいただきました。保護者の皆様のご協力ありがとうございました。

同時に実施した児童と教職員を対象としたアンケートとあわせて結果を集計し、新年度に向けて改善策を検討しました。集計結果と新年度の方角，アンケート記述に対する回答をお知らせします。

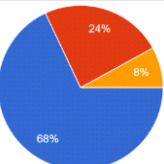
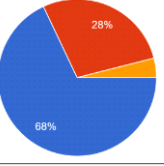
◆ 集計結果の表示

- ◆各項目について，教職員・保護者・低学年・高学年を並列し，円グラフで表示しています。
- ◆肯定的な評価の高い項目（おおむね●よくあてはまるが 75% 以上，または否定的な評価が 0 %）にはグラフの右に水色■を表示。
- ◆改善の必要がある項目（おおむね●よくあてはまるが 50% 未満）にはグラフの右に桃色■を表示。
- ◆右端に前期との比較を記載しています。改善傾向には水色■，後退傾向には桃色■を表示。

- よくあてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない
- わからない

Ⅰ 全職員が協働する学校づくり

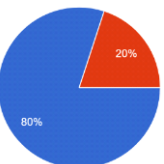
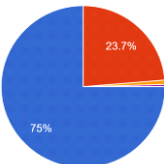
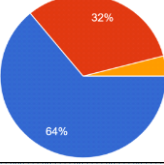
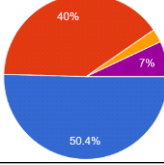
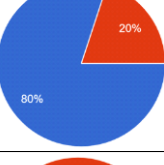
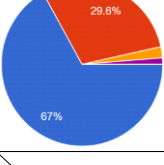
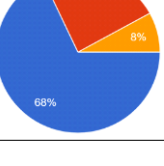
			教職員	保護者	低学年	高学年	前期との比較
1	学校の教育目標・重点目標達成に向けた運営	学校は，教育目標・重点目標の達成に向けて，校務分掌や特別委員会などの組織を活用し，教職員が協働しながら運営している。					微増
2	服務規律の徹底と不祥事防止	学校は，規律委員会などによる啓発活動をととして，コンプライアンスの確立と不祥事の防止に取り組んでいる。					維持
3	特別支援教育	学校は，個別の指導計画に基づいて，交流学級との連携を図りながら，全校体制で特別支援教育を推進している。					微減

4	不登校児童への支援	学校は、不登校児童等に対し積極的にアプローチし、適切な支援を行っている。					減
5	働き方改革	学校は、重点目標達成に向けた取組に重点を置き、業務の改善を図り、教育活動に専念できる環境づくりを推進している。					維持

【新年度の方針・アンケート記述に対する回答】

- 全国的にも不登校児童の問題が指摘されており、本校も例外ではないのが現状です。すべての子どもたちにおいて心理的安全性を保ち、楽しく学校生活を送ることができるよう、積極的にアプローチしていきます。
- 特別支援教育に関わって、子どもたちの理解が不足しているとのこと指摘がありました。本校では、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学べるインクルーシブな環境作りを進めています。障害のありなしを区別するのではなく、多様な人と関わることで相手のことも自分のことも尊重できる視点を育てることが目的です。今後も、みんなが安心して学べる環境を作るべく、理解について働きかけていきます。

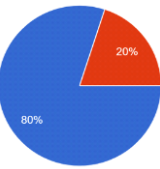
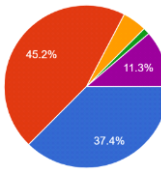
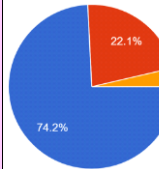
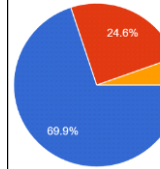
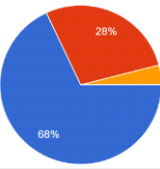
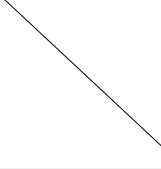
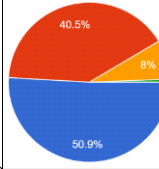
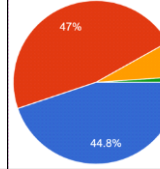
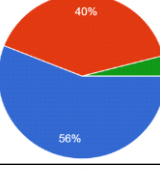
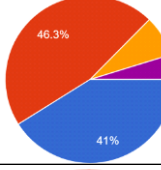
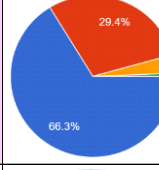
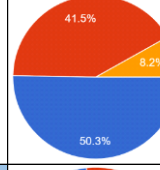
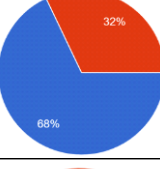
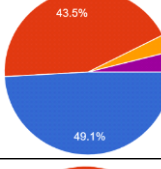
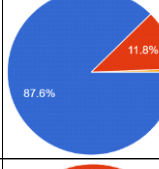
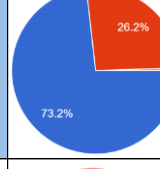
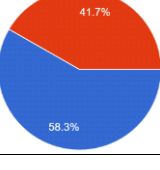
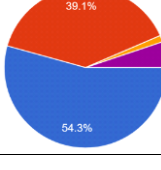
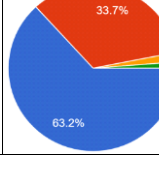
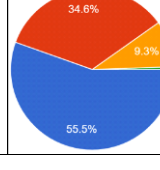
II 家庭・地域に信頼される学校づくり

			教職員	保護者	低学年	高学年	前期との比較
6	保護者・地域への情報発信	学校は、保護者・地域に開かれた学校として、参観日、各種通信、ホームページなどで積極的な情報発信に努めている。					微増
7	P T A 活動	学校と保護者は、P T A 活動を精選しながら、児童の健全育成や教育環境の整備、会員の交流などに取り組んでいる。					教職員減 保護者微増
8	地域連携	学校は、「近文あい運動」、学校行事、学校評価、コミュニティスクールなどをおして、地域との連携を図っている。					増
9	幼保中との連携	学校は、学校力向上の総合実践事業、小中連携一貫教育や幼保小連携事業などをおして、近隣の幼保小中との連携を図っている。					維持

【新年度の方針・アンケート記述に対する回答】

- **情報発信の項目で若干評価が上がりました。**マチコミアプリが安定的に運用できている成果かなと思います。今後も、学校だよりや学級通信、学年通信などのデータ配信を続けていきます。ご家庭におかれましては、SNS 等への掲載や外部へ拡散させたりしないよう、十分にご注意いただきたいと思います。
- **PTAの必要性についてご意見をいただきました。**昨今のご家庭の様子を考えると、PTAの役員選出や活動が負担になっている部分は否めません。そこで、今年度から子どもたちに成果を直接還元できる学年部と運営を担う本部を残し、専門部を廃止しました。今後も、社会の情勢を踏まえ、目の前の子どもたちに何が必要かを見極めながら改革を進めていきたいと思っています。
- **地域連携の項目で評価の上昇が見られます。**コロナによる制限がなくなり、学校行事が戻ってきました。また、負担のない範囲での「近文あい運動」や「学期に1回運動」が浸透してきた成果かなと思います。今後も、地域の皆さんにご協力を仰ぎながら、子どもたちの健全育成に努めていきます。

Ⅲ 安全でぬくもりのある学校づくり

			教職員	保護者	低学年	高学年	前期との比較
10	安心して学び育つ、温かい学級集団づくり	学校は、思いやりのある友達関係を築き、適切ないじめの対応をしながら、安心して学べる学年・学級集団をつくっている。					微増
11	自律する力を育む学級経営	学校は、考えて行動する場面や互いに認め合う場面をつくり、自分のよさを気付かせ、児童の自律する力を育てている。					維持
12	規範意識の育成	学校は、児童が学校の決まりや約束を守って生活するよう指導することで、規範意識を育てている。					教職員減 他は維持
13	安全教育・安全管理	学校は、校内外の安全指導をとおして、安全教育を充実させている。また、危機管理を徹底している。					維持
14	保健指導・環境美化	学校は、保健指導や生活習慣の指導をとおして健康的な生活をする力を育てている。また、清掃指導をとおして清潔な環境づくりをしている。					増

【新年度の方針・アンケート記述に対する回答】

- **規範意識の育成の項目において、教職員・保護者・子どもたちの間で、差が見られます。**子どもたちが個々にもっている規範意識が心の中に留またままになっていることが考えられます。今後も、子どもたちが共に高め合える風土を醸成していきます。
- **安全管理に関わって、学校前「嵐山通り」の歩道にガードレールを設置してほしいと**の要望がありました。交通量が非常に多いのは事実です。貴重なご意見は、教育委員会へも伝えています。
- **保健指導の項目で評価の上昇が見られます。**日々子どもたちへの指導が浸透している成果かなと思います。この結果に甘んじることなく、今後もよりよい生活習慣のために指導を続けていきます。

IV 個性を生かし生きる力を育む学校づくり

			教職員	保護者	低学年	高学年	前期との比較
15	教育課程の編成・実施・改善・充実	学校は、教育課程において、新しい時代に求められる資質・能力の育成を踏まえて編成・実施し、計画的に改善・充実に努めている。					微増
16	基礎的・基本的学力の確実な定着	学校は、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着や、望ましい学習習慣の定着に努めている。					保護者微増
17	よりよい人間関係づくり	学校は、よりよい人間関係づくりのために、挨拶や返事、言葉遣いなどの指導をとおして、コミュニケーション能力の育成に努めている。					維持
18	協力して課題を解決する力	学校は、意見を交流する場を意図的に設定し、対話的な学びの中で友達と協力して解決する力の育成に努めている。					微増
19	自ら学ぶ姿勢づくり	学校は、学習規律「がんばる5」の定着や自主学習の指導をとおして、自ら学ぶ姿勢の向上に努めている。					微増
20	教職員の資質・能力向上の取組	学校は、「学校力向上に関する総合実践事業」と連動した教職員の資質・能力の向上を図るための研修や教員の持ち味を生かす体制づくり。					微減

21	分析・重点化	学校は、諸調査の結果から課題を分析し、学力向上や体力向上の方策を検討し、教職員全員で共通理解を図っている。					維持
22	専科指導・少人数指導	学校は、理科・外国語・家庭科専科、算数の少人数指導を効果的に活用し、学習意欲の向上や学習内容の定着を図っている。					維持
23	読書指導の充実	学校は、朝・昼の読書、読み聞かせ、学校図書館の計画的な利用、国語の読書指導などをおとして、読書活動の充実に努めている。					維持
24	ICTの効果的な活用	学校は、これまでの実践と一人一台端末を効果的に組み合わせ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図っている。					維持
25	道徳教育の充実	学校は、道徳の時間を要として、各教科、特別活動、諸教育との関連を図りながら、児童の道徳性を育てている。					維持
26	キャリア教育などの諸教育	学校は、学校行事や総合的な学習の時間、学級活動などをおとして、目標に向かって努力する姿勢を育てている。					増
27	体力づくり	学校は、体育の授業やマラソン、縄跳びなどの計画的な取組をおとして、体力や運動能力の向上に努めている。					維持
28	給食指導・食育指導	学校は、日常の給食指導や食に関する指導をおとして、食事や食べ物を大切にすることを育てている。					維持

【新年度の方針・アンケート記述に対する回答】

- タブレット端末を使った学習を家庭でも進めたいので、週末の持ち帰りができるようにしてほしいとのご意見をいただきました。今年度途中から週に2回端末を持ち帰り、家庭学習でも活用できるようにしましたが、家庭での活用も順調で、更に進めるべく冬休み中の持ち帰りを実施しました。おおむね、高評価を得ています。タブレット端末が学習用具として定着すれば、次年度は必要に応じていつでも持ち帰れるようにと検討を進めているところです。

- **タブレット端末を使った宿題が放課後児童クラブでもできるようにしてほしい**とのご意見をいただいておりますが、児童クラブには Wi-Fi 環境が整っていないため、今の段階では難しいとのことです。対象の児童には児童クラブにて紙ベースで学習を進めるよう指導をしています。Wi-Fi 環境の整備に向け、今後も旭川市に要望を上げていきます。
- **キャリア教育などの項目で評価の上昇が見られます**。学芸会をはじめとした学校行事や総合的な学習の時間をとおして、子どもたちが目標に向かって真剣に努力する姿が見られた結果と感じます。頑張る子どもたちへのご家庭からの励ましの言葉が後押ししていることも間違いのないことです。ありがとうございます。
- **基礎的・基本的な学力、協力して課題を解決する力、自ら学ぶ姿勢において、ともに若干の増加が見られます**。今求められている子どもたち自ら主体的な学びを実践する自立した学習者を目指した授業改革が実を結び始めている兆候であればうれしく思います。今後ご理解とご協力をお願いします。

V 学習習慣・生活習慣

			教職員	保護者	低学年	高学年	前期との比較
29	生活習慣	お子様は、早寝・早起き・朝ご飯の習慣を心がけて生活している。					維持
30	メディアの使用	お子様は、家の約束を守って、ゲームやスマートフォンなどを使っている。					維持
31	学習時間	お子様は、家で（学年×10+10）分以上学習している。					微増

【新年度の方針・アンケート記述に対する回答】

- **学習時間の項目で、若干の増加が見られます**。これが、Ⅳ個性を生かし生きる力を育む学校づくりでの、基礎的・基本的な学力、協力して課題を解決する力、自ら学ぶ姿勢の増加につながったのかなと思います。今後ご理解とご協力をお願いします。

【Ⅰ～Ⅴに分類できないアンケート記述に対する回答】

- **グラウンドネットの建て替えを要望**するご意見がありました。穴があいた個所はその都度補修をしています。建て替えは予算的にも厳しいのが現状です。貴重なご意見は、旭川市にも伝えていきます。
- **アレルギー対応についてのお願い**がありました。一人一人状況や様子が異なる大切な対応です。情報共有や引継ぎを確実に実施し、漏れのないように対応していきます。
- **S日課の必要性について**検討してほしいとのご意見をいただきました。S（スライド）日課では、火・金の朝・帰りの会、中・昼休み等を短縮し、通常日課よりも30分程度早く帰宅します。この日課をきっかけに、電子メディア機器に接する時間を学習や読書の時間にスライドし、子どもたちの望ましい生活習慣の定着と学力向上につなげたいと考えています。教職員は、この時間を活用して、より質の高い授業を提供するための授業計画や準備、研修を進めます。最近ではICTの導入により、ますます研修の必要性が高まっており、教員の放課後の時間確保には苦慮しているところです。ただ、ICTにより子どもたちの学習環境は劇的に変化し、情報収集や精査、情報発信や交流など、短時間でより深く学習を進めることができるようになりました。今後も「子どもたち自ら主体的な学びを実践する自立した学習者」を育成するため、S（スライド）日課の趣旨やねらいについて子どもたちに継続的に指導してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。
- **クーラーの設置について**要望をいただきました。現在、旭川市内の小・中学校において、徐々にクーラーの設置が進んでいます。本校では、令和8年度に使用できるように工事を進めるようです。進捗状況については、学校だより等で随時お知らせします。

おわりに

今年度も、教育活動の検証改善サイクルの短期化を図るため、前期（7月）と後期（12月）2回の保護者アンケートを実施しました。2回目となった今回も多くのご保護者から前向きなご意見を多数お寄せいただきました。皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。

そのすべてに意を尽くしてお応えできないことは心苦しいのですが、今回も複数の保護者からいただいたご質問やご意見、保護者の皆様に一層ご理解いただきたい点を中心に回答をまとめました。

学級内の相談や担任、担当者が個別に対応した方がよいと判断したご質問等については、すでに連絡をとって相談させていただいています。

アンケートの記述欄では、本校の教育活動に対する肯定的なご意見やお礼の言葉を数多くいただきました。担任による日常の指導やトラブル対応、学級通信の配信、保健室の対応、……。担任や担当者に対する心温まるお言葉、本当にありがとうございます。これらを日頃の取組の成果と捉えて励みにしながら、そのお言葉に甘えることなく一層の学校改善に努めていきます。

一方で、私たちの指導の仕方や学校の対応に対するご指摘やご要望もいただきました。それらを貴重なご助言として前向きに受け止めて、今後の学校運営や教育計画の作成に反映させていくとともに、教職員一同気を引き締めて教育活動にあたります。

今後もより多くの保護者の願いを学校改善につなげられるよう努めていきますので、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

